

令和4年度

履修科目ガイド

理学療法学科

【4年】

リハビリテーションカレッジ島根

理学療法学科 新教育課程

教育内容	授業科目	単 位	履修時間	1 年		2 年		3 年		4 年		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	心理学	2	30	30								
	日本語表現	2	30	30								
	社会保障学	2	30							30		
	地域環境福祉学	2	30					30				
	人間関係学	2	30		30							
	生物学	2	30	30								
	物理学	2	30		30							
	統計学	4	60	30	30							
	保健体育(実技)	1	45		45							
	英会話	2	30	15	15							
専門英語	2	30	15	15								
	23単位/11科目 合計	23	375	195	120	0	0	30	0	30	0	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ(骨学・靭帯学・筋学)	4	60	30	30							
	解剖学Ⅱ(循環器学・内臓学・神経学)	4	60	30	30							
	体表解剖学	4	60			30	30					
	生理学	4	60	30	30							
	生理学実習	1	30		30							
	運動生理学	2	30			30						
	基礎運動学	4	60	30	30							
	関節運動学	4	60			30	30					
	人間発達学	2	30		30							
		29単位/9科目 合計	29	450	120	180	90	60	0	0	0	0
専門基礎分野	臨床心理学	2	30			15	15					
	病理学	1	15			15						
	一般臨床医学	2	30			30						
	内科学	2	30				30					
	老年学	1	15				15					
	整形外科	4	60			30	30					
	神経内科学	2	30			15	15					
	中枢神経障害学	2	30			15	15					
	小児科学	1	15				15					
	精神医学総論	2	30			30						
精神医学各論	2	30				30						
	21単位/11科目 合計	21	315	0	0	150	165	0	0	0	0	
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	2	30	30								
	リハビリテーション医学	2	30			15	15					
	4単位/2科目 合計	4	60	30	0	15	15	0	0	0	0	
専門基礎分野	理学療法概論	4	60	30	30							
	理学療法研究法	4	60					30	30			
	理学療法管理運営論	2	30						30			
		10単位/3科目 合計	10	150	30	30	0	0	30	60	0	0
	理学療法評価学	基礎理学療法評価学	4	60		60						
		理学療法評価実習	4	120			60	60				
		疾患別理学療法評価実習	2	60					30	30		
		運動器障害診断学	2	30			30					
		中枢神経障害診断学	2	30				30				
		疾患別理学療法診断学	4	60					30	30		
	18単位/6科目 合計	18	360	0	60	90	90	60	60	0	0	
理学療法治療学	基礎運動療法	4	60			30	30					
	徒手療法	2	60			30	30					
	基礎物理療法	4	60			30	30					
	物理療法実習	2	60					60				
	ADL技術論	4	60					30	30			
	基礎義肢装具学	2	30					30				
	義肢装具学	2	30					30				
	中枢神経治療学	4	60					30	30			
	運動器疾患治療学	4	60					30	30			
	脊髄損傷治療学	4	60					30	30			
	小児治療学	2	30					30				
	呼吸循環治療学	4	60					30	30			
	神経筋疾患治療学	2	30					30				
	臨床学	4	60							30	30	
スポーツ健康増進学	2	30							15	15		
	46単位/15科目 合計	46	750	0	0	90	120	300	150	45	45	
地域理学療法学	地域理学療法学	2	30					30				
	生活環境学	2	30						30			
	4単位/2科目 合計	4	60	0	0	0	0	30	30	0	0	
臨床実習	臨床実習	1	45		45							
	臨床評価実習	3	135						135			
	臨床総合実習	16	720							360	360	
		20単位/3科目 合計	20	900	0	45	0	0	0	135	360	360
総単位数・時間数及び各学年時間数		175	3420	375	435	435	450	450	435	435	405	
				810		885		885		840		

目 次

◎4年次 開講科目

社会保障学	1
臨床学	2
スポーツ健康増進学	3
臨床総合実習	4

4年次

開講科目

授業科目名	社会保障学			(フリガナ) 担当教員名	ミヤケ 三宅 アヤコ 綾子
開講学年	4年	開講学期	通年	必修/選択	必修
授業形態	講義及び演習	単位数	2	時間数	30
授業概要					
リハビリテーションは関連する各制度のもとで行われる。制度の適切な適用を図るため、社会保障制度について学習するもの。					
GIO (一般目標)					
社会保障制度の概要と実際について理解する。自立支援・就労支援、社会保障制度や地域包括ケアシステムに関する理学療法士の役割を法的な観点から理解した上で、他の関係機関との連携の必要性について理解する。					
SBO (行動目標)					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度の種類を列挙し、概要を説明できる。 ・社会保障制度の歴史について述べる事ができる ・生活環境に関わる制度について説明できる ・保健、医療、福祉の動向と政策について説明できる 					
授業回数	授業内容				
第1回	私たちの暮らしと社会保障制度				
第2回	社会保障制度の概要 (種類・機能・役割)				
第3回	障害者総合支援法 (自立支援・就労支援含む)				
第4回	障害者総合支援法 (自立支援・就労支援含む)				
第5回	医療保健制度の概要と実際				
第6回	介護保険制度の概要				
第7回	介護保健制度の問題と動向				
第8回	地域包括ケアシステムの概要とリハビリテーション専門職の役割				
第9回	多職種連携				
第10回	年金制度・労災保険制度				
第11回	児童福祉法				
第12回	バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する法制度				
第13回	公衆衛生				
第14回	海外の社会福祉制度				
第15回	保健・医療・福祉の動向と今後の施策				
成績評価基準					
後期末に筆記試験を実施する。60点未満の場合は再試験を実施する。					
教科書					
福田康生 著:社会保障・社会福祉.医学書院					
参考書					
随時、資料を配布します					
実務経験に関する内容					
急性期・回復期・維持期、外来リハ、訪問リハ、通所リハ、施設リハ等多分野において理学療法士として実務を経験した教員が、その経験を生かした事例等を盛り込み、講義・演習を行う。					

授業科目名	臨床学			(フリガナ) 担当教員名	中牟田 祐典・三宅 綾子・山本 圭彦 吉川 幸次郎・石原 直樹・瀧上 千年
開講学年	4年	開講学期	通年	必修/選択	必修
授業形態	講義・演習	単位数	4	時間数	60
授業概要					
臨床実習で担当した症例を提示し、様々な思考過程および理学療法を学習する。					
GIO (一般目標)					
臨床実習に必要な知識・コミュニケーションスキルを身に付けることができる。					
SBO (行動目標)					
解剖学・生理学・運動学・疾患の症状・評価・治療をグループディスカッションで説明できる。					
授業回数	授業内容			授業回数	授業内容
第1回	I期実習対策① (CBT)			第16回	II期実習対策
第2回	I期実習対策② (CBT)			第17回	II期実習対策
第3回	I期実習対策③ (CBT)			第18回	II期実習対策
第4回	I期実習対策④ (CBT)			第19回	II期実習対策
第5回	長期臨床実習 I期 症例発表			第20回	II期実習対策
第6回	長期臨床実習 I期 症例発表			第21回	II期実習対策
第7回	長期臨床実習 I期 症例発表			第22回	長期臨床実習 II期 症例発表
第8回	長期臨床実習 I期 症例発表			第23回	長期臨床実習 II期 症例発表
第9回	長期臨床実習 I期 症例発表			第24回	長期臨床実習 II期 症例発表
第10回	長期臨床実習 I期 症例発表			第25回	長期臨床実習 II期 症例発表
第11回	長期臨床実習 I期 症例発表			第26回	長期臨床実習 II期 症例発表
第12回	長期臨床実習 I期 症例発表			第27回	長期臨床実習 II期 症例発表
第13回	長期臨床実習 I期 症例発表			第28回	長期臨床実習 II期 症例発表
第14回	II期実習対策			第29回	長期臨床実習 II期 症例発表
第15回	II期実習対策			第30回	長期臨床実習 II期 症例発表
成績評価基準					
症例発表100%					
教科書					
指定教科書なし					
参考書					
実務経験に関する内容					
病院・クリニック・訪問リハでの臨床経験を持った教員が症例の具体的な事例を提示し、必要な知識を提供する。					

授業科目名	スポーツ健康増進学			(フリガナ) 担当教員名	ヤマモト タカ ヒコ 山本 圭彦
開講学年	4年	開講学期	通年	必修/選択	必修
授業形態	講義	単位数	2	時間数	30
授業概要					
基本的なスポーツ障がいと外傷に対する理学療法を理解する					
GIO (一般目標)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なスポーツ障がいと外傷に対する理学療法が実践できる ・ 健康増進に関する知識を深め、現在社会へ対策を理解する 					
SBO (行動目標)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ分野に興味を持ち、学習意欲が向上する ・ 整形外科疾患の理学療法へ応用ができるようになる ・ 自ら健康増進に関する行動が取れるようになる 					
授業回数	授業内容				
第1回	スポーツに関わる理学療法士の役割。スポーツ障がいと外傷の違い。				
第2回	異常アライメントと下肢疾患との関係				
第3回	異常アライメントに関する身体的機能				
第4回	異常アライメントに関する理学療法				
第5回	投球障害				
第6回	投球障害に対する検査				
第7回	投球障害に対する理学療法				
第8回	成長期障害				
第9回	成長期障害に対する検査				
第10回	成長期障害に対する理学療法				
第11回	足関節捻挫に対する検査				
第12回	足関節捻挫に対する理学療法				
第13回	体力に関する基礎知識				
第14回	日本における健康増進の対策				
第15回	日本における健康増進の対策				
成績評価基準					
総合評価として後期末試験を実施し、60点未満を不合格とする。不合格の場合は、再試験の受験対象となる。					
教科書					
神野哲也：ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション。羊土社、2012					
参考書					
実務経験に関する内容					
整形外科を中心とした医療機関（病院・クリニック）で勤務してきた。また一部、介護保険領域（通所ケア・訪問リハビリテーション）も担当していた。学術活動としては、保健学博士を取得している。					

授業科目名	臨床総合実習			(フリガナ) 担当教員名	ナカムタ 中牟田 祐典 ヒロノリ
開講学年	4年	開講学期	通年	必修/選択	必修
授業形態	実習	単位数	16	時間数	720
授業概要					
学内で学習した知識・技術を臨床の場で再確認し、さらに統合するとともに、臨床でなければ学ぶことのできない対象者への対応、および他職員との人間関係を学習する場である。					
GIO (一般目標)					
基本的理学療法の実験・実践を通して、自己の理学療法観を育成できる。					
SBO (行動目標)					
問題抽出及び目標設定から理学療法治療・指導計画の立案がある程度の助言・指導のもと出来る。理学療法治療・指導対応をある程度の助言・指導のもと行うことが出来る。					
授業回数	授業内容				
I 期	臨床実習施設での臨床実習 320時間 臨床実習事前・事後に関するセミナー及び評価 40時間				
II 期	臨床実習施設での臨床実習 320時間 臨床実習事前・事後に関するセミナー及び評価 40時間				
成績評価基準					
長期実習評価表を基に総合的に判断します。					
教科書					
参考書					
実務経験に関する内容					
保健・医療・福祉など、臨床現場における理学療法士の指導の元、対象者への評価・治療を見学・共同参加・実施して学ぶ実習を行う。					